

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 38 週(9 月 17 日～ 9 月 23 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	4.94	(4.85)	↑	→	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	2.18	(3.53)	↓	↓	↓	↓
3	手足口病	0.91	(1.26)	→	→	→	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	0.65	(0.88)	↓	↗	↓	→
5	突発性発しん	0.56	(0.59)	→	→	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RS ウイルス感染症の増加が続いています。中和保健所の東部地域(旧桜井保健所管内)では、先週から倍増しています。RS ウイルス感染症は、例年年末に向けて多くなる呼吸器感染症ですが、今年は9月末の時点で例年のピーク時以上に多くなっています。小児科定点対象疾患であるため報告されている患者の中心は2歳までですが、成人や高齢者も感染します。乳幼児や高齢者で入院治療が必要となった重症例では、インフルエンザと比較して、同程度もしくはそれ以上に致命率が高いことが示唆されています。家庭や、介護施設等の集団生活の場には、持ち込まないことが重要です。健康な成人では、軽い咳、鼻汁程度の軽い症状しかなく、感染していることがわかりにくいですが、症状に気づいた場合には、乳幼児や高齢者との接触は避けるようにしましょう。

(参考 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-sp/2296-related-articles/related-articles-412/4713-dj4127.html>)

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数はまだ増加傾向には無い。RS ウイルス感染症が時にみられる程度で、まだ感染性胃腸炎も増加していない。この夏の手足口病やヘルパンギーナは非常に少なかった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は少しずつ増加傾向。ヘルパンギーナ、アデノ様の例は見られなくなり、軽度の咽頭発赤、短期の発熱例が多くなった。乳児の咳嗽・ゼロゼロ例があるがRS例は減少。

生後2Wの発熱以外無症状のRS例があった(臨時報告済)。

感染性腸炎がわずかず持続、ロタ陽性例はない。その他水痘が少し。

今夏手足口病は少なかったが今週再び5歳児で数例見られた。症状は熱なし、軽症。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RS ウイルス感染症の流行が続いている。入院の大部分が当該疾患となっている。呼吸停止例はないものの、夜間の酸素飽和度低下が回復しない乳児が多い。

手足口病、ヘルパンギーナは激減したが、アデノウイルス腸炎やノロ・ロタウイルス胃腸炎は散見されている。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 38 週 9 月 17 日 ~ 23 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	5 (0.09)	1 (0.07)		1 (0.09)	3 (0.30)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	168 (4.94)	30 (3.33)	14 (1.56)	66 (9.43)	49 (8.17)		9 (4.50)	
咽頭結膜熱	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)		1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	22 (0.65)	6 (0.67)	5 (0.56)	3 (0.43)	6 (1.00)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	74 (2.18)	14 (1.56)	17 (1.89)	14 (2.00)	28 (4.67)		1 (0.50)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)		1 (0.14)	1 (0.17)			
手足口病	31 (0.91)	1 (0.11)	13 (1.44)	8 (1.14)	7 (1.17)		2 (1.00)	
伝染性紅斑	5 (0.15)	2 (0.22)		2 (0.29)	1 (0.17)			
突発性発しん	19 (0.56)	4 (0.44)	3 (0.33)	5 (0.71)	7 (1.17)			
ヘルパンギーナ	17 (0.50)	3 (0.33)	4 (0.44)	6 (0.86)	4 (0.67)			
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	16 (1.60)	5 (1.67)	2 (0.67)	7 (3.50)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)		2 (1.00)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市2、郡山2、中和3)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(中和2)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 風しん1件(奈良市1)

❖ 第38週のトピックス ❖

◆風しん急増に関する緊急情報:9月19日現在

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/180919/rubella180919.pdf>

◆風しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

風しんが関東地方で流行しており、関西地方でも徐々に患者数が増加しています。患者の中心はこれまでのように30~40歳代の男性ですが、風しんは胎児への影響が最も懸念される疾患です。妊娠早期であるほど影響が大きいため、妊娠が判明していない時から注意が必要です。妊娠を希望する女性だけでなく、その家族や職場などの周囲の方々も、ワクチン接種歴を確認し2回のワクチン接種が済んでない方は、ワクチン接種を検討しましょう。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男								1								1	1				1	3	7852
	女														1								2	7818
RSウイルス感染症	男	9	20	24	20	14	3	1	1														92	546
	女	5	10	37	11	8	4	1															76	474
咽頭結膜熱	男			2																			2	246
	女			1																			1	214
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2		3	2	2	1			2										10	1179
	女			1	1		2	1	2	2		1	2										12	1043
感染性胃腸炎	男	2	4	8	6	4	2	3	2	1	2		4		3	3							44	3422
	女	1		6	5	3	4	2	2		1	1	2		3	3							30	3001
水痘	男			1			1						1										1	156
	女																						2	170
手足口病	男		3	5	5	2	1	1															17	367
	女		2	4	3	2			1		1		1										14	283
伝染性紅斑	男									2													2	104
	女			1			1			1													3	113
突発性発しん	男	2	2	3																			7	284
	女		5	6	1																		12	264
ヘルパンギーナ	男		1	6	2	2		1	1														13	455
	女		1	1	1		1																4	383
流行性耳下腺炎	男											1											1	51
	女											1											2	38
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							1
流行性角結膜炎	男			1	1				1								2	2					7	104
	女			1												2	1		3		1		9	115
細菌性髄膜炎	男																							5
	女																							6
無菌性髄膜炎	男																							6
	女																							3
マイコプラズマ肺炎	男				1																		1	16
	女									1													1	18
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							33
	女																							23

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

